InertSustain C30の保持力と選択性

今回は、C30アルキル鎖をシリカゲルに化学結合したInertSustain C30 と同カラムシリーズのC18などとの保持と選 択性の違いについて同じ分析条件で溶出挙動を比較しました。本分析では、疎水性が強いカラムほどブチルベンゼ ン(4)に対してアミルベンゼン(6)が遅れて溶出し、立体選択性が高いカラムほど σ -ターフェニル(5)に対してトリフェ ニレン(7)が遅れて溶出することが知られています。

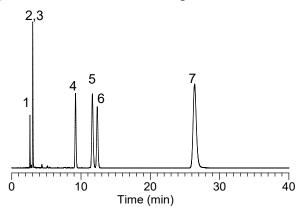
InertSustain C30は、InertSustain C18とほぼ同等の分析時間であることがわかります。これは、母体のシリカゲルの 表面積がInertSustain C30の方が小さいために、トリアコンチル基(C30)の疎水性がオクタデシル基(C18)よりも高い ものの、本条件では保持力が同等であるためです。また、InertSustain C30では、200 m²/gという小さな表面積に対し て18.5%もの炭素が結合しているために、立体選択性が高く、異性体の分離にも利用できます。InertSustain C30は、 C18で分離が難しい場合、同じ分析条件で分離改善が期待できるカラムのひとつです。

(K. Suzuki)

カラム比較

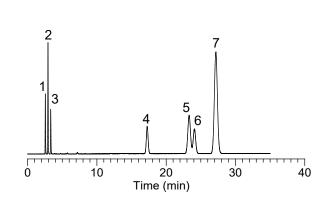
InertSustain C30

(炭素量 18.5%, 表面積 200 m²/g)



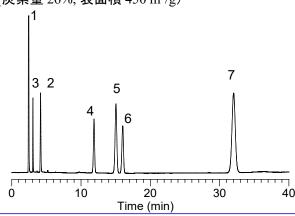
InertSustain C18

(炭素量 14%, 表面積 350 m²/g)



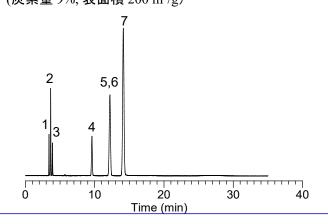
C30自社合成品

(炭素量 26%, 表面積 450 m²/g)



InertSustainSwift C18

(炭素量 9%, 表面積 200 m²/g)



HPLC条件

溶離液

カラムサイズ: 5 μm, 250 × 4.6 mm I.D.

(GL Sciences Inc.)

: A) CH₃OH B) H₂O

A/B = 80/20, v/v

: 1.0 mL/min

カラム温度 : 40 °C

検出器 : UV 254 nm 注入量 : 5 μ L

サンプル

1. Uracil

2. Caffeine



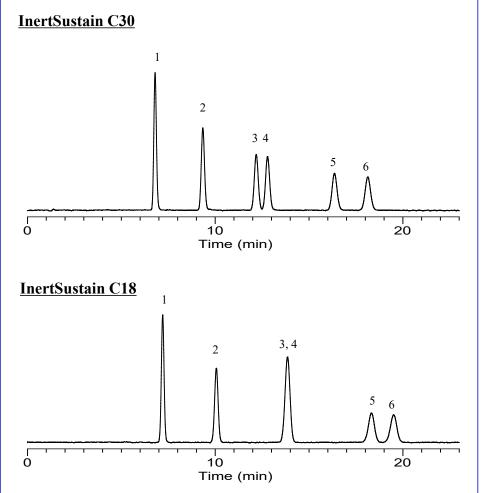




4. n-Butylbenzene 5. o-Terphenyl 6. n-Amylbenzene 7. Triphenylene

特定悪臭物質アルデヒド類6種の分析例

DNPHで誘導体化されたアルデヒドを分析しました。C18では分離が難しい、n-, iso- ブチルアルデヒドの分離が InertSustain C30を使用することにより、短時間で分離が達成できました。



HPLC条件

カラムサイズ: 5 μ m, 250 × 4.6 mm I.D.

(GL Sciences Inc.)

溶離液 : A) CH₃CN

B) H₂O

A/B = 60/40, v/v

: 1.2 mL/min 流量 カラム温度 : 30 °C

検出器 : UV 360 nm

注入量 : 20 μ L

- DNPH-Acetaldehyde
- DNPH-Propionaldehyde
- DNPH-iso-Butyraldehyde
- 4. DNPH-*n*-Butyraldehyde
- 5. DNPH-iso-Valeraldehyde
- DNPH-n-Valeraldehyde (10 μ g/L each)

使用装置

●HPLC装置 日立HPLCシステム Primaide

No.	品名	型番	
1	オーガナイザー		
2	検出器 (UV)	1410	
3	カラムオーブン	1310	
4	オートサンプラー	1210	
5	ポンプ	1110	

使用したHPLCカラム

カラム : InertSustain C30 (5 μ m, 250 × 4.6 mm I.D.)

Cat. No. : 5020-17145



リーエルサイエンス株式会社

〒163-1130 東京都新宿区西新宿6-22-1新宿スクエアタワー30F TEL.03-5323-6611 FAX.03-5323-6622 https://www.gls.co.jp

製品・技術に関するご相談 カスタマーサポートセンター TEL.04-2934-1100

(土・日・祝日・弊社休日を除く)

受付時間:9:00~12:00 13:00~17:00



- ○各試験法は、変更される場合がありますので、分析をご検討される前に確認されることを お薦めいたします。
- ○データに起因し、直接的または間接的に生じたいかなる損害に対しても、当社が責任を 負うものではありません。また、記載事項につきましては、予告無しに改訂する場合が ありますので、あらかじめご了承ください。
- ○本資料に掲載している製品をご使用する際には、必ず「取扱説明書」をよくお読み のうえ、正しくお使いください。